

割材特集

価値を維持しながらも 新たな顔見せる割材

「割材」はお酒の楽しい世界を演出する。チューハイやカクテルをつくる時、酒類を割るために使われる飲料のことを「割材」というが、最近では普通のソフトドリンクも割材として使われることが多く、境目が無くなってきたともいわれる。それだけ外食では新たなメニューに渴望しているともいえ、利益商材となる商品を持ち焦がれている。伝統的な割材も、その価値は維持しながらも、海外向けも含めて飲み方や見せ方を選んだ新たな顔もみせており、各社は日々様々な角度から商品開発に取り組み、提案を続けている。(山本)

記事抜粋です。ご覧ください。

スター食品工業株

食品産業

しんぶん

発行所 食品産業新聞社
〒110-0015 東京都台東区上野2-1-11 電話(03)5801-5201
〒110-0015 東京都台東区上野2-1-11 電話(03)5801-5201
〒110-0015 東京都台東区上野2-1-11 電話(03)5801-5201
〒110-0015 東京都台東区上野2-1-11 電話(03)5801-5201



きょうの紙面から
輸入ビール特集 4~5
大平ビール会社の参入もあり、クラフトビール市場は今年も活況。国内ビール市場が緩やかに縮小に向かう中、クラフトビールは「価格訴求しなくても売れる差別化商材」として熱い競いを前している。
割材特集 6~7
伝統的な割材は、その価値を維持しながらも、海外向けも含めて飲み方や見せ方を選んだ新たな顔もみせており、各社は日々様々な角度から商品開発に取り組み、提案を続けている。

スター食品工業

昨年発売した塩みかんが非常に好調で、基幹商品であるお疲れさん(クエン酸)が2ヶ月増と伸び、全体で2ヶ月増を続けている。もう一つ飲んでもらえる、集客で



森田社長

きる商品の開発が同社を支える。現在は羅志向のもの商品が好調だ。すば抜けて良いのは昨年発売した塩みかん。日本産の塩みかん果実に、伯方の塩、高麗人参抽出液

「熱中症対策で求めた。ただ、この塩みかんは単なる夏場の健康メニューだ。けではない。どんな味かすぐに想像できるのが良かった。どのくらいかと分析する。各種イベントやゴルフ場での採用が広がり、ゴルフ場は

「塩みかん」が非常に好調 各種イベントや教育機関で採用



昨年から好調な「塩みかん」



チラシで商品を提案

今期だけでも300店舗増え、また、教育機関の採用も増え、各地で多くの学生が、また、野球のイベントや、ある歌手が行った屋山のイベントでも出店の一つが採用。提供しているところでも、もちろんだという。この商品は高い合せが多い。また、教育機関の採用も増え、各地で多くの学生が、また、野球のイベントや、ある歌手が行った屋山のイベントでも出店の一つが採用。提供しているところでも、もちろんだという。

いやらにアイテム数増やすだけの新商品開発は、お疲れさん(クエン酸)が2ヶ月増と伸び、全体で2ヶ月増を続けている。もう一つ飲んでもらえる、集客で

東海での採用が増えている。当社としては酒販店に提案するのだが、一次、二次の両方を含めて、その先の外食への切り込み商材として、当社商品の開発を心がけている。当社では0.00%のサンブルボトルを用意し、それを

「商品は前もって、割増だが逆にいうと、知度にはまだ」と今後も拡張に取組む。ハイホールやヒル、日本酒サワーに「お疲れさん(クエン酸)を少し入れた、既存のお店のサワーで300円で提供している。上旬に8月と同く売りの売り上げを確保できている。1ヶ月、通年で安定した好調が何える。